

内子座



藝於遊



床板の解体

令和7年12月23日、舞台北西側の床板が解体されました。10月から東西の櫓を皮切りに、客席、通路、階段などを順次解体していき、いよいよ大詰めの作業となった床板解体作業です。

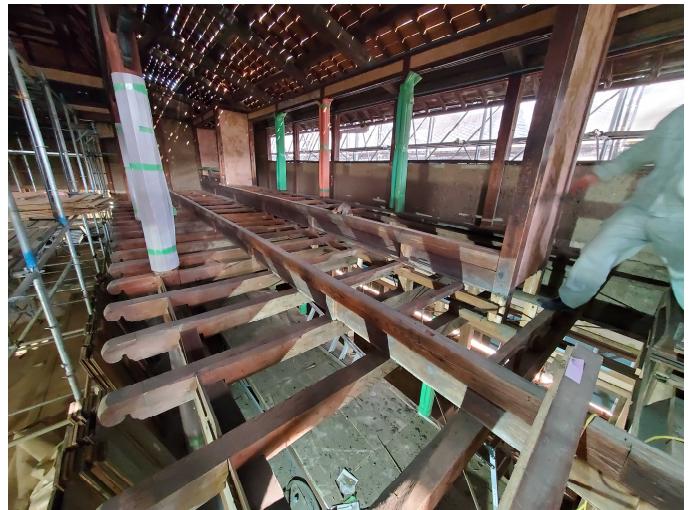
床板も、昭和の復原工事の際に解体・復旧された部分もありますが、それから約40年が経過する中で、釘がさび付くなどし、解体作業は簡単には進みません。もちろん、文化財の保存修理工事ですから、床板を割らないよう、またなるべく傷つけないよう、慎重に作業が進められます。なお、床板が解体されるのは、補強工事に支障をきたす範囲のみです。



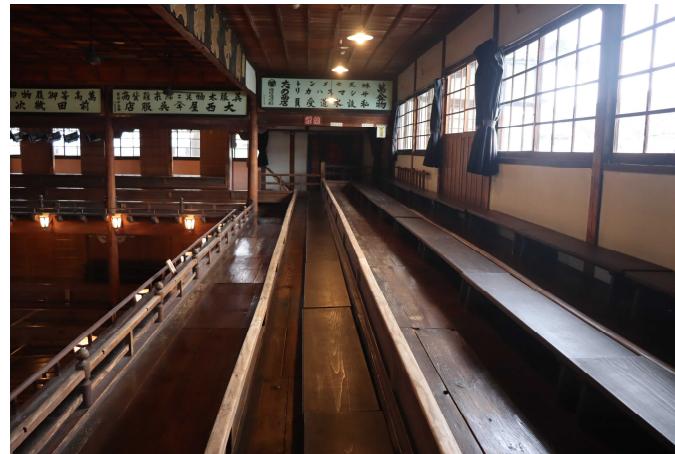
▲10月3日東櫓の2階から始まった床板解体作業



舞台北西側の床板解体の様子
(12月23日撮影)



(左)と床板解体が完了した2階東桟敷の風景(右)



▲保存修理工事前(R5.12.15撮影)の内子座2階向正面桟敷席と現在(R7.12.4撮影)の様子。満員御礼で公演していた頃が懐かしい～！奇しくも同じ12月に撮影。R8も撮影してみよう！どうなってるかな？

